



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.24 —

平成30年10月29日発行

「自分から」の挑戦者に拍手をおくろう

— 仙北市陸上競技大会に16名自主参加 —



10月21日(日)、生保内中学校グラウンドで行われた仙北市陸上競技大会に本校から16名の子どもたちが出場しました。

陸上のスポーツ少年団で活動している子どもが多く出場している中、本校の子どもたちは大変素晴らしい成績を収めてくれました。

成績もさることながら、出場の呼びかけに全学年から、ここ何年間では最も多くの子どもたちが「自分から」の気持ちをもって、出場してくれたことを嬉しく思います。

校外の人と競い合って、自分の力を高めようとする気持ちももち、結果に対して「嬉しい」や「悔しい」と思える体験はかけがえのないものです。

運動以外にも、様々なコンクールがあります。「自分から」の気持ちをもって多くの子どもたちに挑戦してほしいと思っています。

「自分から」の気持ちで挑戦した勇者たち

| | | | |
|----------|----|------|-----------|
| 1年女子60M | 1位 | K.さん | 11秒80 |
| 1年男子60M | 7位 | K.さん | 12秒20 |
| | 9位 | T.さん | 12秒60 |
| 2年男子80M | 1位 | K.さん | 14秒00 |
| | 4位 | S.さん | 14秒30 |
| 3年女子80M | 6位 | K.さん | 15秒30 |
| 4年女子100M | 3位 | K.さん | 16秒40 |
| | 6位 | H.さん | 17秒80 |
| | 7位 | T.さん | 17秒40(予選) |
| 4年男子100M | 2位 | K.さん | 15秒80 |
| 5年男子100M | 1位 | K.さん | 14秒60 |
| | 2位 | T.さん | 14秒80 |
| | 7位 | K.さん | 17秒20(予選) |
| 6年女子100M | 3位 | F.さん | 16秒10 |
| 男子1000M | 3位 | S.さん | 3分42秒10 |
| 男子走幅跳 | 1位 | T.さん | 3m37 |



学校生活ア・ラ・カルト

弾みをつけて、いざ勝負……

10月20、21日に湯沢市で行われた「第1回しゃくやくカップ」で白岩ミニバスクラブが見事優勝し、先日校長室に報告に来てくれました。今回の大会は、11月に行われる冬季郡市交歓大会前の最後の交流大会だったそうです。今回の優勝は、大きな大会に向けてよい弾みになったと思います。

今回の優勝を自信に、油断することなく11月の大会で活躍することを期待しています。

「必笑」で頑張り！



マヨネーズの正しい発音は？



10月24日に行われた「おはなしコンサート」では、いつもの読み聞かせや音楽の他、英語の発音も楽しみました。数字

や色を英語で言ったり、マヨネーズやバターなどの正しい発音の仕方を楽しみながら勉強したりしました。マヨネーズの正しい発音の仕方を是非お子さんに聞いてみてください。きちんと参加していれば言えるはず？



ふるきをたずねて……

—2年生雲巖寺訪問／3・4年生農業科学館訪問—



10月23日(火)、2年生が地元の雲巖寺に、3・4年生は大仙市にある農業科学館にそれぞれ出かけました。2年生は生活科の授業の一環として、3・4年生は社会科の授業の一環としての訪問です。3・4年生は同じ農業科学館への訪問ですが、3年生は、「古くから残る暮らしに関わる道具やそれを使っていたころの暮らしの様子」の調べ学習、4年生は、学習発表会でも取り上げた石川理紀之助など「地域の発展に尽くした先人」の調べ学習をそれぞれ行ってきました。

2年生のみんなには訪問をとおして、「白岩にはずっと昔の建物があってすごい。これからも大切にしていきたいな」という気持ちをもってほしいものです。上学年になったときに、雲巖寺など地域に残っている大切なものについて調べ、他から見に来た人の案内などができるようになったら最高ですね。また、古い道具や昔の人の生き方には、暮らしをもっとよくしたいという願いや、よくするための工夫や努力が詰まっています。3・4年生のみんなは今回、たくさんの「願いや工夫、努力」を見つけてきたことと思います。ご家庭でもお子さんに訪問の感想などを聞いてみてください。



ちよっといいはなし

—地域の人に見守られ 地域の人に元気を与え—

○地域の人が見守ってます

先日、白岩地区を通して通勤している方とお話する機会がありました。同じ時間に通るため、ほぼ同じ子どもたちとすれ違うそうです。「白岩小の子どもたちは、横断歩道で車を止めると、渡った後に一礼してくれる。嬉しいですね。」と教えてくださいました。また、「毎日見かけるので、『あれあの子今日は元気がないな』とか『今日は笑顔で友達と話してる。よかったな。』とか思ってしまうんですよ。」とも言ってくれました。

また、先週「花みづき」に学校報を届けに行った際、所員の方が「ここを通る子どもたちは、いつも元気にあいさつしてくれる。所員も施設を利用しているお年寄りも元気をもらっています。」と教えてくれました。登下校中の子どもたちは、多くの方々に見守られていると同時に、多くの人に元気を与えていることを実感する出来事でした。

○お礼の声が届いています

「学校報NO.22」でもお知らせしたとおり、白岩農園で栽培したサツマイモは、毎年、学校周辺の施設や「おはなしコンサート」などでお世話になっている方々におすそ分けしています。

今年も、秋休み明けにお届けしましたが、その後、お届けした方々からお礼の言葉をたくさんいただいています。先日も、宇都宮市の菅さんからお電話がありました。「おイモ届きました。今年のおイモは例年になく大きいですね。近所にも配って喜んでもらっています。ありがとうございます。」とおっしゃっていただきました。「おイモだけでは、子どもたちも心身ともに大きく育っていますよ。帰省の際は学校に是非お立ち寄りください。」と応えました。毎年たくさんの本や果物を送ってくださる菅さんです。本当に学校に遊びに来ていただきたいものですね。